

第46週の発生動向 (2005/11/14~2005/11/20)

1. 伝染性紅斑は、青森保健所管内で引き続き**警報**が出されています。
2. 流行性角結膜炎は、五所川原保健所管内において**警報**が出されました。
3. 感染性胃腸炎が増加傾向にありますので、今後の動向に注意が必要です。

第46週五類感染症定点把握

保健所名 疾患番号・疾患名	青森		弘前		八戸		五所川原		上十三		むつ		青森県計		増減数 (前週からの増減)
	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	
(72) インフルエンザ					11	0.79			1	0.11			12	0.18	2
(60) 咽頭結膜熱			1	0.10			1	0.20			1	0.25	3	0.07	1
(61) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	10	1.25	8	0.80	4	0.44	1	0.20	7	1.17	1	0.25	31	0.74	-2
(62) 感染性胃腸炎	31	3.88	6	0.60	30	3.33	8	1.60	22	3.67	19	4.75	116	2.76	28
(63) 水痘	7	0.88	11	1.10	19	2.11	9	1.80	21	3.50	1	0.25	68	1.62	-12
(64) 手足口病					1	0.11			2	0.33	3	0.75	6	0.14	-6
(65) 伝染性紅斑	9	1.13	5	0.50	1	0.11			3	0.50	1	0.25	19	0.45	-6
(66) 突発性発しん	5	0.63	7	0.70	2	0.22	1	0.20	3	0.50	4	1.00	22	0.52	-6
(67) 百日咳															0
(68) 風しん					1	0.11							1	0.02	0
(69) ヘルパンギーナ	2	0.25	1	0.10									3	0.07	-4
(70) 麻しん(成人を除く)															0
(71) 流行性耳下腺炎	2	0.25	3	0.30	5	0.56	7	1.40	3	0.50	4	1.00	24	0.57	2
(73) 急性出血性結膜炎															0
(74) 流行性角結膜炎	1	0.50	3	1.00	1	0.50	8	8.00					13	1.18	-2

保健所名	定点数				
	インフルエンザ (内科+小児科)	小児科	内科	眼科	基幹
青森	13	8	5	2	1
弘前	16	10	6	3	1
八戸	14	9	5	2	1
五所川原	7	5	2	1	1
上十三	9	6	3	2	1
むつ	6	4	2	1	1
合計	65	42	23	11	6

は警報
 は注意報
 「空欄」: 患者発生数0

表 以外の感染症法対象疾患 (17年計には、今回届出された人数を含む)

- (29) つつが虫病(四類全数把握疾患) 青森保健所管内: 1人 上十三保健所管内: 1人 (17年計 17人)
- (45) アメーバ赤痢(五類全数把握疾患) 弘前保健所管内: 1人 (17年計 3人)
- (59) RSウイルス感染症(五類定点把握疾患) 弘前保健所管内: 5人 五所川原保健所管内: 2人 (17年計 57人)

感染症の窓

高病原性鳥インフルエンザ

図1 鳥インフルエンザの公式発表にもとづく分布



タイ、ベトナム、インドネシアなどにおいて、通常ヒトには感染することがない鳥インフルエンザに2004年6月以降130名が感染し、67名が死亡しています(図1)。これまでのところヒトからヒトへの感染は確認されていませんが、ヒトからヒトへ感染するウイルス(新型インフルエンザウイルス)へと変異し、世界的な流行(パンデミック)の可能性ができています。

新型インフルエンザの予防は、通常のインフルエンザと同様です。インフルエンザは、感染した人の咳、くしゃみ、つばなどの飛沫とともに放出されたウイルスを吸入することによって感染します。そのため、

外出後のうがいや手洗い、マスクの着用、人混みや繁華街への外出を控えることが重要です。また、十分に休養をとり、体力や抵抗力を高め、日頃からバランスよく栄養をとることも大切です。